

書籍仕入れご担当者様【ジャンル／歴史・太平洋戦争・戦後問題・社会】

平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。  
 新刊の『忘却の引揚げ史』を7月下旬に発売致します。  
 ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようお願い申し上げます。

**FAX: 092-726-9886**

# 忘却の引揚げ史

## 《泉靖一と二日市保養所》

下川正晴◎著 | 定価 2200円+税 【7月下旬刊】  
 四六判・340頁 ISBN978-4-86329-155-3 C0021

### 戦後日本の再生は、ここから始まる

中絶施設・二日市保養所(福岡県筑紫野市)は、忘却された「戦後史の穴」である。跡地に立つ「仁」の慰霊碑が、その記憶を静かに語る。



二日市保養所跡に立つ「仁」の碑と水子地蔵

- ◆満州などでの性暴行被害者数百人が、引揚げ港・博多近郊で治療を受けた。女性や孤児らを支えた献身的行為に光をあてた労作。
- ◆インカ遺跡を発掘した文化人類学者・泉靖一を、「災害人類学」の先駆者として再評価する。

・目次から・

- 第1章 「二日市」からの旅……福岡市の無関心
  - 第2章 二日市保養所の真実……『水子の譜』の衝撃
  - 第3章 証言と「問診日誌」……敗者の沈黙
  - 第4章 泉靖一という男……植民地二世・泉靖一
  - 第5章 泉靖一の闘争……敗戦前夜の予言／京城帝国大学
  - 第6章 聖福寮の山本良健……引揚げ孤児施設「聖福寮」
  - 第7章 石賀信子と保母たち……引揚げ港・佐世保
  - 第8章 映像の力・上坪隆……「引揚げ港・博多湾」
  - 第9章 次世代へ語り継ぐ……最大の戦争犠牲者
- ◎年表で見る「引揚げ港博多」の戦前戦後

〈著者の横顔〉 下川正晴 (しもかわ・まさはる)  
 1949年鹿児島県生まれ。毎日新聞西部本社、ソウル支局、論説委員等を歴任。韓国外国語大学言論情報学部客員教授などを経て、近現代日本史、韓国、台湾、映画を中心に取材中。著書に『私のコリア報道』論文「終戦時の陸軍大臣・阿南惟幾、遺族が語る自決七〇年目の真実」他がある

【FAX: 092-726-9886】

地小出版 流通センター 取扱品 書店・帖合 ご担当者様	冊	忘却の引揚げ史 《泉靖一と二日市保養所》 下川正晴 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-155-3
	冊	満州国の最期を背負った男・星子敏雄 荒牧邦三 定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-137-9
	ご注文日	弦書房 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 —Genshobo— URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com